

音潮海

戦後最悪の惨事となつた東日本大震災に総理だつた。彼らどう対応する？ こんなに設問に、子どもたちちは新聞記事を読みながら西菜立地や避難対策など項目ごとに問題点を分析し、意見にまとめて発表し合う◆鳥取市内での学習塾が取り組むマクロ社会学という授業だ。高1男子は「原発事故を繰り返さない対策ができるなら別に団体で挑む。ニュース検定は新聞などのニュースを読み解くための時事力を認定するもので、学習成果を試すのに最適だからだ◆授業で子どもたちの質問回数が着実に増え、思考力やコミュニケーション力がつき、自信につながつたという。塾の経営者は新聞を毎日読むように奨励し、ニュース育成に情熱を燃やす◆同検定協会理事で、ジャーナリストの池上彰さんは「ニュースを理解できれば自分がどう生きていか判断も可能になる」と指摘する。社会の理解が人生にも影響する。新聞を大いに活用し、検定で力試しをしてほしい。鳥取でも6月19日にある。